

# 公民館型

## 「地域が子どもを育て、育った子どもが地域を創る」

～ “知の好循環” する地域を構築する～

【長門市 菱海中学校区】

### 地域の概要

油谷地域の高齢化率は44.2%になっています。そうしたまちで、子どもを地域の真ん中に置いて、高齢者をつなぎ、結び、活かし活かし合う関係づくりを通して、地域全体の活性化を図るとともに、育った子どもが地域を創る。そうした“知の好循環”する地域を構築していく。こうした公民館型の地域協育ネットに期待が集まっています。

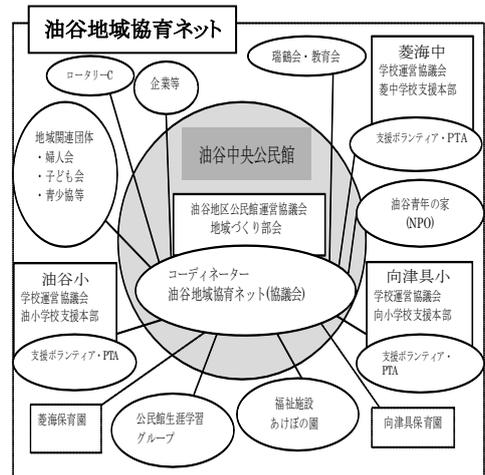
人口	6,552人	
世帯数	3,003世帯	
対象校	菱海中	120人
及び児童	油谷小	138人
生徒数	向津具小	34人

### 組織の内容

**【経過】** 発端は平成19年度から21年度、油谷小学校がコミュニティ・スクールと学校支援地域本部事業の指定を受け「地域総がかりで子どもを育てる」取組を始めたことです。

公民館では、平成23年10月から「地域総がかりというとき、それは公民館の仕事である」として、この成果を引き継ぎ、より実践的で継続可能な仕組みづくりとして取り組んできています。

**【公民館を中心とした組織づくり】** 公民館には、地域づくりという使命があります。より良き地域の中に、より良き学校や子どもたちが存在し、学校や子どもたちが良くなることは地域が良くなることであり、地域が良くなることは学校や子どもたちが良くなることとなります。特に高齢化の進む地域にあって、住民が総がかりで学校や子どもたちを支援することは、逆に子どもたちからエネルギーをもらい、それが生きがい感となり、より良き地域づくりの力となります。また、育った子どもが今度は地域を創る側に回る。こうした“知の好循環”する地域を構築していくことは、地域づくりの拠点として機能する公民館の重要な仕事です。油谷中央公民館には公民館運営協議会を設け「地域主導型」公民館をめざしています。その組織の中で「おしかけふれあい塾（公民館活動サークルが学校へ行き給食を食べ、ふれあう塾）」を主催しており、これをコーディネートする公民館の部署を、油谷地域協育ネットの中核として取り組んでいます。



### 特色・重点的な取組

**【「地域づくり」の取組としての地域協育ネット】** 公民館は今、生涯学習の拠点のみでなく、地域づくりの拠点としても機能することが求められています。公民館型の「油谷地域協育ネット」は、単に子どもの育ちを支援するネットではなく、子どもを地域総がかりで育てることを通して、地域をより活性化させる「地域づくり」の取組であるとともに、地域と共に歩く「新しい公共型の学校」づくりの取組です。

**【育った子どもが地域を創る】** こうして地域に愛され育った子どもたちが中・高・大学へと進む中で、徐々に地域を創る活動（子どもの手による地域づくり）を始めるようになってきています。公民館型の「油谷地域協育ネット」は、15年間の子どもの育ちを支援するのみでなく、高校・大学へとつなぐ息の長い取組です。大人の「知・実践」が子どもの「知・実践」に結び付き、循環する地域づくりの活動です。もし子どもたちが地域づくりに参画しなかったら、それは「地域の大人の子どもを育てるエネルギーが足らなかったのだ」と思えるような地域づくりの活動です。こうした取組は、長門市教委の指導の下に、市全体で進めている取組です。

## 主な活動の紹介

【おしかけふれあい塾（公民館→学校へ）が「油谷地域協育ネット」へ】 公民館活動をしているグループが1年に1回は、学校へ行き子どもたちと給食を共にし、授業や昼休みにふれあう「おしかけふれあい塾」を開催しています。今では学校・教師・子どもたちとの間に笑顔の弾けるふれあい活動が展開されています。この「生きがい感」が地域全体に拡大し、地域住民が学校を支援する光景が随所に見受けられるようになってきています。「こんなに価値のある楽しいことならば、地域全体でやろう」と「油谷地域協育ネット」が立ち上がりました。「私たち高齢者も、まだまだこんなに楽しく地域貢献できることがあるんですね」と、今や高齢者には地域づくりの一翼を担っていただいています。



よみっ子クラブ



油谷フォークダンスクラブ



油谷写真クラブ



琴の寄付・指導

【学校が地域へ支援を要請（学校→地域）】 子どもたちにいい笑顔が生まれ、住民と教師が顔なじみになってくると、教師はどんどん地域に支援を求めるようになってきています。子どもと住民の笑顔のふれあいに目を細める教員。「私の授業の時もこんないい顔をしてくれないかな」との教員の声。地域と学校にWin-Winの関係が生まれています。

【子どもたちが地域を創る（子ども→地域）】 地域に愛され、育まれる子どもたちが今度は地域を創る側に回ってきていることを実感しています。子どもたちに地域への「出番」を作り「役割」を与え、その活動に地域はこぞって賞讃を与えることによって「知・実践」の好循環が生まれてきています。今や長門市の宝となってきた「油谷こどもミュージカル」の団員の合言葉は「地域の皆様に笑顔と元気を届ける」です。地域の祭りも中・高生が進行役を買って出ますし、地域課題を掘り起こすワークショップでも、地域の大人に交じって中・高・大学生が自分の意見を述べます。こうした取組が公民館型の「油谷地域協育ネット」です。



油谷こどもミュージカル



ワークショップでの中学生

## 成果と課題

【成果】 地域総がかりで子どもを育て、そして育った子どもたちが、今度は地域を創る側に回ってくれる様子が見受けられるようになってきたことです。それは、地域の方々がおしかけるように学校へ行くことで、教師の視点が「地域と共に子どもを育てる」方向へと変わってきたからと考えています。先生方が「子どもたちにできる地域活動はないか」と模索するようになってきたことがポイントのようです。まさにWin-Winの関係が生まれてきています。

【課題】 こうした実践はまだまだ諸に就いたばかりです。学校と地域のWin-Winの関係がさらに進むよう、新たな手立てや方策を実践の中から見つけ出していくことが重要と思っています。

## 今後の取組

長門市の進める公民館型の地域協育ネットは「より良き地域の中に、より良き学校や子どもたちが存在する」という理念のもとに、子どもたちを地域の真ん中に置いた「地域づくり」の取組です。

「油谷地域協育ネット」は、こうした実践に粘り強く取り組むことにより「公民館そのものの在り方を問い直す」取組でもあります。今や、公民館は地域づくりを志向するときです。こうした公民館型の地域協育ネットを県下に広めていくこともまた、私たちの使命だと思っています。